

平成 24 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

小論文試験問題

・解答上の注意

1. 問題文は 5 枚、解答用紙は 1 枚(表・裏)、下書き用紙は 1 枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問 1 を表に、問 2 を裏に解答してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

平成 24 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

小論文

〔問題文〕を読んで、次の問に答えなさい。

問 1 〔問題文〕の筆者は、芸術はどうあるべきと考えているか。抽象芸術と原始芸術に対する筆者の考えから読み取れるところを説明しなさい。(句読点も 1 字と数え、800 字以内とする。)

問 2 下線部で筆者が示している「近代」の問題について、例を挙げながら、あなたの考えを述べなさい。(句読点も 1 字と数え、1,000 字以内とする。)

〔問題文〕

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【岡本太郎『岡本太郎の宇宙 1 対極と爆発』(筑摩書房、2011 年) P463～P476:対極—芸術の「現代」を超える。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】